

台湾で低病原性鳥インフルエンザが発生しました！

中丹家畜衛生情報（No. 23-40）

平成24年1月発行

台湾彰化県の採卵鶏農場において、低病原性鳥インフルエンザ（H5N2）が発生しました。

昨年11月以降、中国、香港、台湾での発生が続いていますので、気を緩めず以下の予防対策を徹底願います。

また、鶏の死亡羽数増加等の異常を認めた場合には、自分で判断せず直ちに当所に連絡願います。

【概要】

- 発生場所：台湾彰化県の採卵鶏農場
（63,000羽飼養）
- 発生日：平成23年11月25日
（200羽死亡）
- 確定日：平成24年1月6日
低病原性鳥インフルエンザ確定

（参考）

- 最近の近隣国での鳥インフルエンザ発生状況
 - <高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）>
 - ・12月2日 中国チベット自治区の家きんで発生
 - ・12月13日 香港元朗区の野鳥で発生
 - ・12月17日 香港の野鳥で発生
 - ・12月23日 香港の家きんで発生
 - <低病原性鳥インフルエンザ（H5N2）>
 - ・11月7日 島根県松江市の野鳥で発生
 - ・11月10日 台湾新竹県竹北市の鶏繁



予防対策

- 1 野生動物 侵入箇所がないか再確認！
侵入防止対策
- 2 防鳥対策 網目2cm角以下の防鳥ネットを張り、野鳥等の侵入を防止。破損箇所の点検！
- 3 人・車両対策 出入り口でウイルスを遮断！
 - ・農場専用の手袋、作業靴、作業衣の着用。
 - ・鶏舎出入口の踏み込み消毒槽による消毒。
 - ・消石灰散布による消毒。
- 4 飲用水対策 飲み水の消毒の徹底！

